



皆川 裕樹 (Minakawa Hiroki)

研究員

修士 (農業工学)

- 1981 愛媛県松山市生まれ
- 2005 愛媛大学農学部 修士課程修了
- 2007 農研機構農村工学研究所 採用
- 2008 // 地球温暖化対策研究チーム
- 2011 // 水資源工学担当



写真：ある日常の光景

研究者の横顔

<入所5年目の若手(?)>

生まれも育ちも愛媛県松山市ですが、「坊っちゃん」も「坂の上の雲」もまだ読んでいません。高校ではボート部に所属。大学院を卒業し2年ほど社会経験を積んだ後、2007年に農工研に採用され今年で5年目になります。研究室に配属されてからは自分の研究テーマも見付き、日々精進しています。5年目ともなると、もはや「若手」という言葉に甘えることが許されなくなってきており、仕事に対する意識をもっと高めていきたいと考えています。

<研究テーマ>

気候変動により将来的に豪雨が激しくなり、それに伴う洪水の多発が予測されます。そこで現在、私は「降雨パターンの変動が低平地の排水に与える影響評価」という研究テーマに取り組んでいます。その内容は、①実測降雨や気候モデルデータの活用による豪雨の変化傾向の把握、②様々な雨量や降雨波形を持つ豪雨データの模擬発生手法の開発、③それらを入力とした排水モデルによる解析、で構成されています。本研究では、様々な豪雨の状況を想定し、洪水リスクを評価していくので、今後は防災面からも重要な情報を発信できると考えています。

今年度は、学会やシンポジウム等で積極的に口頭発表した甲斐もあって、研究の成果が少しずつ形になってきたかなと感じています。



雪降る中での現地測量



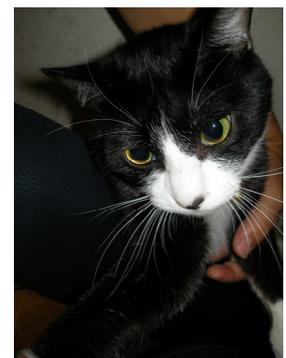
国際会議での発表の様子

<吾輩は猫(好き)である>

現在、実家には7匹の猫がいます。みんな元々はノラ猫で、毛色も性格も様々です。その中の一匹「のりすけ」はとてもヤンチャで、他の猫にちょっかいを出したり壁を引っかいてばかりですが、そこが憎めないところです。

<がんばっていきまっしょい>

私は負けず嫌いな性格で、自分の力で勝負するゲームやスポーツが好きなのですが、その中の一つが「将棋」です。将棋では的確な状況判断(大局観)や先を読む力が求められ、さらには集中力や記憶力も必要です。このような能力は仕事(研究)においても重要であり、将棋を楽しみながらその涵養を心がけているところですが、身に付けるにはまだまだ修行が必要な私です。



愛猫：のりすけ